

## ロームシアター京都 2017年度（平成29年度）自主事業ラインアップ

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
2017年（平成29年）3月28日 報道発表資料

[本リリースに関するお問合せ先]  
ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
担当：松本、長野  
電話：075-771-6051（9：00～17：00）FAX:075-746-3366  
E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp <http://rohmtheatrekkyoto.jp/>

ロームシアター京都 2017 年度（平成 29 年度）ラインナップ

	概要	01
広がるく普及>	市民寄席 能楽チャリティ公演	02
	京都発見！クラシック vol.6、vol.7	03
	能の世界へおこしやすー京都薪能鑑賞のためにー 第 68 回 京都薪能ー神出鬼没 幽冥巡礼 A Fantastic Tour of Kyoto Powerspotsー	04
伸びるく育成>	京都オペラ協会公演モーツァルト：「皇帝ティートの慈悲」全 2 幕（イタリア語上演／字幕付） 平成 29 年度 新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演「蝶々夫人」（イタリア語上演／字幕付） 第 3 回全国学生演劇祭	05
	小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト XVI	06
未来へく創造>	白井 晃 構成・演出「春のめざめ」	07
	アルディッティ弦楽四重奏団（音楽）× 白井剛（ダンス）	08
	スガダイローと JASON MORAN と東京と京都 鼓童「打男 DADAN 2017」	09
	レパートリーの創造 木ノ下歌舞伎 「心中天の網島ー 2017 年リクリエーション版ー」	10
	京響クロスオーバー Co. 山田うん「モナカ」 栗山民也 演出「アンチゴーンヌ」	11
	チェルフィッチュ「三月の 5 日間」リクリエーション	12
	ロームシアター京都セレクション 烏丸ストロークロック新作「タイトル未定」	13
出会うくフェスティバル>	京都岡崎音楽祭 2017 OKAZAKI LOOPS	14
	KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2017	16
参加する劇場	プレイ！シアター in Summer	17
	ロームシアター京都・京都市ユースサービス協会連携事業「未来のわたしー劇場の仕事ー」 舞台音響家のための公開講座《演劇コース》	18
	「まちの見方を 180 度変えるローカルメディアづくり ～CIRCULATION KYOTO（サーキュレーション キョウト）～」	19
	賑わいと憩いの場	20
ロームシアター京都について		21

[本リリースに関するお問合せ先]  
 ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
 担当：松本、長野  
 電話：075-771-6051（9：00～17：00）FAX:075-746-3366  
 E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp http://rohmtheatrekyoto.jp/

Press Release

2016年1月のリニューアルオープンから1年間にわたるオープニング事業を経て、いよいよ劇場のレギュラーシーズンが始まります。「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、自ら企画に取り組む多彩な事業が続々とスタートします。

このたび、2017年度（平成29年度）ラインナップとして、本日時点で発表可能な17の主催事業と8の共催事業、合計25の自主事業を発表します。本リリースでは、2017年度自主事業を次のように、いくつかのポイントに沿ってご紹介します。

未来へ ～創造プログラム

現代の表現は、今私たちが生きる時代への応答です。  
その先の未来を見据えるため、  
劇場の財産になる作品を創造します。

- ・白井 晃 構成・演出「春のめざめ」
- ・アルディッティ弦楽四重奏団（音楽）×白井剛（ダンス）
- ・スガダイローと JASON MORAN と東京と京都
- ・鼓童「打男 DADAN 2017」
- ・レパートリーの創造
- 木ノ下歌舞伎「心中天の網島ー2017年リクリエイション版ー」
- ・京響クロスオーバー
- ・Co.山田うん「モナカ」
- ・チェルフィッチュ「三月の5日間」リクリエイション
- ・栗山民也 演出「アンチゴース」
- ・ロームシアター京都セレクション 烏丸ストロークロック

伸びる ～育成プログラム

観ることは育てること。  
ロームシアター京都が、演じる人にとっても鑑賞する側にとっても、  
夢へと続く第一歩となるような機会をつくり出します。

- ・小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト XVI
- ・平成29年度 新国立劇場  
高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演「蝶々夫人」
- ・京都オペラ協会公演
- モーツァルト：「皇帝ティートの慈悲」全2幕  
（イタリア語上演／字幕付）
- ・第3回学生演劇祭

参加する劇場へ

ロームシアター京都が開かれた場所として、  
人々の交流や憩いの場となるよう、  
さまざまな形で積極的に参加できる取り組みを行います。

- ・プレイ！シアター in Summer
- ・まちの見方を180度変えるローカルメディアづくり  
～CIRCULATION KYOTO（サーキュレーション キョウト）～
- ・ロームシアター京都・京都市ユースサービス協会連携事業  
「未来のわたしー劇場の仕事ー」
- ・舞台音響家のための公開講座《演劇コース》
- ・賑わいと憩いの場

拡がる ～普及プログラム

長い歴史を生き抜いてきた古典（クラシック）は、  
時代においてなお進化を続けています。  
連綿と続く営みを受け継ぎ、次代へと届けていきます。

- ・能の世界へおこしやすー京都薪能鑑賞のためにー
- ・第68回 京都薪能
- ・市民寄席
- ・能楽チャリティ公演
- ・京都発見！クラシック vol.6 , vol.7

出会う ～フェスティバル

京都から世界へ、世界から京都へ。  
ロームシアター京都を拠点に、  
未だ見ぬ表現と広がる出会いの扉が開きます。

- ・京都岡崎音楽祭 2017 OKAZAKI LOOPS
- ・KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2017

洋の東西を問わず、世界水準の優れた作品をお届けすることはもちろん、劇場の財産となる作品のプロデューサーや次代を担う芸術家の育成にも取り組んでいきます。さらにロームシアター京都が開かれた場として、人々の交流を活性化させるべく、京都のさまざまな施設や団体と連携しながら、地域に根をおろしていく事業を展開してまいります。ロームシアター京都が歩む次なる一歩、どうぞご期待ください。

拡がる＜普及＞

市民寄席

演劇

主催

上方落語協会に所属する落語家による恒例寄席。1957年の初回から300回を超え、今年は60周年という記念すべき年です。永く愛され続ける市民寄席の魅力を、より多くの方へお届けします。

第335回

日程：5月23日(火) 19:00 開演

会場：サウスホール

「雑俳」桂二葉 「銃撃戦」桂文鹿  
「崇徳院」桂春雨 「船弁慶」笑福亭松枝

第336回 7月19日(水)19:00 開演

第337回 9月23日(土・祝)13:30 開演

第338回 11月14日(火)19:00 開演

第339回 2018年1月21日(日)13:30 開演

※第337回は市民寄席60周年記念公演として実施

＜チケット情報＞

料金：前売 1,800円 (当日 2,000円)

ユース (25歳以下) 1,500円 [発売中]

主催：京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



桂二葉



桂春雨



桂文鹿



笑福亭松枝

能楽チャリティ公演

演劇

共催

日程：8月24日(木)【第1部】10:30 開演【第2部】18:30 開演

会場：サウスホール

被災地の復興を支援するため、京都在籍の能楽師有志による能楽チャリティ公演を昨年に引き続き、開催いたします。京都の各流派の能楽師が一堂に会す、ロームシアター京都ならではの貴重な機会です。同日にノースホールにおいて能楽体験も開催します。

＜チケット情報＞

料金：1,500円 (前売・当日共)

※第1部、第2部それぞれにチケットが必要となります。

主催：京都在籍能楽師有志

共催：京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、国際交流基金京都支部



金剛流 羽衣



観世流 羽衣

## 広がる＜普及＞

# 京都発見！クラシック vol.6 , vol.7

音楽

主催

日程：[vol.6] 8月16日(水)[vol.7] 2018年3月27日(火) 各回11:00 開演  
会場：メインホール

普段、クラシックコンサートを鑑賞しない方にも親しんでいただけるよう、どこかで耳にしたことのあるようなクラシックの名曲をお楽しみいただきます。さらに、指揮者とスペシャルゲストが、演奏曲や音楽、京都にまつわるトークを繰り広げます！

管弦楽：京都市交響楽団、指揮：沼尻竜典 (Vol.6)、広上淳一 (Vol.7)

ゲスト：山村紅葉 (vol.6)、未定 (vol.7)

主催：京都市交響楽団、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

### ＜チケット情報＞

料金：各回 全席指定 2,000円 vol.6：5月13日(土) 発売 / vol.7：12月2日(土) 発売

### プロフィール



©RYOICHI ARATANI

## 沼尻 竜典 Ryusuke Numajiri

リュウベック歌劇場音楽総監督、びわ湖ホール芸術監督  
トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督

1990年第40回プザンソン国際指揮者コンクール優勝。ロンドン響、モントリオール響、シドニー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、ベルリン・ドイツ響、デュッセルドルフ響、トゥールーズ・キャピトル管、フランス放送フィル、ビルバオ響等欧米各国のオーケストラを指揮。これまで、新星日響正指揮者、東フィル正指揮者、名古屋フィル常任指揮者、日本フィル正指揮者、群馬響首席指揮者兼芸術アドバイザーを歴任。

オペラ指揮者としては1997年《後宮からの誘拐》でデビュー以後、ケルン、ミュンヘン、ベルリン、シドニー、新国立劇場をはじめ国内外の劇場で指揮、さらに2007年よりびわ湖ホール第2代芸術監督に就任、数々のプロダクションを成功に導いている。1991年第1回「出光音楽賞」、1999年第7回「渡邊暁雄音楽基金音楽賞」、2001年第51回「芸術選奨文部科学大臣新人賞」、2004年第3回齋藤秀雄メモリアル基金賞、2005年第46回毎日芸術賞、第23回中島健蔵音楽賞、2011年文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞をそれぞれ受賞。



©Greg Sailor

## 広上 淳一 Junichi Hirokami

京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー

東京音大指揮科に学ぶ。1984年第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝し、国際的な活動を開始。1991～1995年ノールショピング響首席指揮者、1991～2000年日本フィル正指揮者、1998～2000年リンブルク響首席指揮者、2006～2008年コロンバス響音楽監督を歴任する傍らフランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響など欧米各地のオーケストラに客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管へも客演。オペラでも、シドニー歌劇場「仮面舞踏会」や「リゴレット」が高く評価されたのをはじめ、国内外で活躍。2015年4月京都市交響楽団とともにサントリー音楽賞受賞。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー。東京音楽大学指揮科教授。京都市立芸術大学客員教授。

## 拡がる＜普及＞

### 能の世界へおこしやす — 京都薪能鑑賞のために —

演劇

主催

日程：6月1日（木）・2日（金）各日 14:00 開演  
会場：メインホール

#### 京都薪能出演者が能楽の魅力を伝えるまたとない機会

京都薪能の能と狂言の世界をお楽しみいただくために、出演者による公開レクチャーを行います。能の謡や囃子、狂言の体験を交えた解説の後に、ダイジェスト版の能も鑑賞していただけます。

出演：京都薪能出演能楽師

#### ＜チケット情報＞

料金：無料／京都薪能チケットを持参の場合は申込不要、当該催しのみ参加の場合は要事前申込（4月15日～5月19日まで、京都いつでもコール（075-661-3755）にて受付）

主催：京都市、一般社団法人京都能楽会、ROOMシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

### 第68回 京都薪能

— 神出鬼没 幽冥巡礼 A Fantastic Tour of Kyoto Powerspots —

演劇

共催

日程：6月1日（木）・2日（金）各日 18:00 開演  
会場：平安神宮特設能舞台（雨天時：メインホール）

初夏の京都を彩り、年中行事の一つとして親しまれている「京都薪能」。昭和25年に始まり、68回目を迎える今年も、平安神宮を舞台に観世・金剛・大蔵各流の能や狂言が披露され、観客を幽玄の世界へと誘います。

演目：6月1日（木）

金剛流能 かも「加茂」

観世流能 たむら「田村 替装束」

大蔵流狂言 くらままい「鞍馬参り」

観世流能 しゃり「舍利」

6月2日（金）

観世流能 ゆみやわた「弓八幡」

観世流能 ののみや「野宮 合掌留」

大蔵流狂言 くじざいにん「鬨罪人」

金剛流能 こかじ「小鍛冶 白頭」

※各上演曲の間には、狂言師が、曲の舞台になっている京都の名所等を案内する「ナビ狂言」を実施します。



観世流能「田村」（ウシマド写真工房撮影）

#### ＜チケット情報＞

前売券 4,000円（4月15日発売予定）、前売団体割引券 3,600円（15名以上・京都薪能事務局でのみ発売）

前売学生券 3,000円（学生証提示・京都薪能事務局でのみ発売）、当日券 5,000円（当日会場でのみ発売）

主催：京都市、一般社団法人京都能楽会

共催：ROOMシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

伸びる<育成>

京都オペラ協会公演

モーツァルト：「皇帝ティートの慈悲」全2幕

(イタリア語上演 / 字幕付き)

音楽

共催

日程：6月25日(日) 14:00 開演

会場：サウスホール

京都オペラ協会は、ミッシェル・ワッセルマン総監督・演出によるオペラ公演を、2003年より京都府下各地で展開しています。今回は、モーツァルト最後のオペラでありながら、国内で上演される機会の少ない「皇帝ティートの慈悲」を、京都市立芸術大学卒業生の中から実力あるソリストをキャストイングし、イタリア語(字幕付)で上演します。

総監督・演出：ミッシェル・ワッセルマン

指揮：小崎雅弘

出演：テノール：竹内直樹

ソプラノ：白石優子

メゾソプラノ：森季子 田中千佳子 ほか

<チケット情報>

料金：全席自由 一般前売 6,000円(当日 6,500円)

学生前売(高校生以下)3,000円(当日 3,500円) [発売中]



主催：京都オペラ協会

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

後援：京都市

平成29年度 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演

「蝶々夫人」(イタリア語上演 / 字幕付き)

音楽

主催

日程：10月30日(月)・11月1日(水)

会場：メインホール

新国立劇場のオペラ鑑賞教室。ロームシアター京都では平成28年度から開催しています。平成29年度の作品はプッチーニの歌劇「蝶々夫人」です。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、新国立劇場でも上演されるダイナミックな舞台をお贈ります。

出演：高関健(指揮)、京都市交響楽団(管弦楽)

※高校生対象の公演です。残席がある場合に限り、一般にも当日券を販売します。

主催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

新国立劇場

助成：公益財団法人ロームミュージックファンデーション

協賛：ローム株式会社



提供：新国立劇場、撮影：寺司正彦

第3回 全国学生演劇祭

演劇

共催

日程：2018年2月下旬

会場：ノースホール

札幌、東北、東京、名古屋、京都、大阪、四国、福岡、そして中国地方と、全国各地の演劇祭を勝ち抜いてきた学生劇団が「京都」に集結し、日本一を競う学生演劇の祭典です。2016年度より会場をロームシアター京都に移し、文化芸術の拠点となる劇場で、若き才能の発掘と発展をバックアップします。

主催：全国学生演劇祭実行委員会

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

後援：京都市



第二回全国学生演劇祭より シラカン「永遠とはとは」(多摩美術大学)  
© 脇田友

## 伸びる&lt;育成&gt;

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXVI  
ROHM CLASSIC SPECIAL

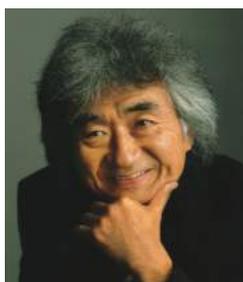
音楽

主催

日程：2018年3月

会場：メインホール

世界的な指揮者である小澤征爾が、自らの音楽経験を後進の若手音楽家に伝えることを目的に、2000年に立ち上げた教育プロジェクトによるオペラ公演です。日本、中国、台湾、韓国でのオーディションで選ばれる若手音楽家たちで結成するオーケストラと、一流の出演者・制作陣によって、高水準のオペラを制作します。また、一般向けの公演だけでなく、京都府内の小学生を対象にした、「子どものためのオペラ」公演も開催します。



© Shintaro Shiratori

小澤征爾オペラ・プロジェクトXIV J. シュトラウスII世：喜歌劇「こうもり」  
© 大塚道治小澤征爾オペラ・プロジェクトXIV J. シュトラウスII世：喜歌劇「こうもり」  
© 大塚道治

主催：小澤征爾音楽塾／ヴェローザ・ジャパン、京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

企画・制作：ヴェローザ・ジャパン

共催：公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

## 【小澤征爾音楽塾 これまでの公演】

2000年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅠ モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」全4幕

2001年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅡ モーツァルト：歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」全2幕

2002年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅢ モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」全4幕

2003年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅣ J. シュトラウスII世：喜歌劇「こうもり」全3幕

2004年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅤ プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」全4幕

2005年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅥ ロッシーニ：歌劇「セビリヤの理髪師」全2幕

2006年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅦ グスタフ・マーラー交響曲第2番「復活」

2007年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅧ ビゼー：歌劇「カルメン」全4幕

2008年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅨ J. シュトラウスII世：喜歌劇「こうもり」全3幕

2009年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅩ フンパーディンク：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」全3幕

2012年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅪ プッチーニ：歌劇「蝶々夫人」全2幕

2013年 小澤征爾音楽塾 オーケストラ・プロジェクトⅡ

2014年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅫ モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」全4幕

2015年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅩⅢ ラヴェル：歌劇「子どもと魔法」

※「子どものためのオペラ」も開催

2016年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅩⅣ J. シュトラウスII世：喜歌劇「こうもり」全3幕（制作拠点：ロームシアター京都）

※「子どものためのオペラ」も開催

2017年 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅩⅤ ビゼー：歌劇「カルメン」（制作拠点：ロームシアター京都）

※「子どものためのオペラ」も開催

## 未来へ＜創造＞

白井 晃 構成・演出

演劇

主催

## 「春のめざめ」

日程：5月27日（土）13:00 / 18:00 開演・28日（日）13:00 開演  
会場：サウスホール

KAAT 神奈川芸術劇場 × ロームシアター京都 劇場間共同製作企画。

ドイツの劇作家フランク・ヴェデキントの名作戯曲が、原作版ストレートプレイとして蘇る！

白井晃芸術監督のもと、意欲的なオリジナル企画で日本の公共劇場をけん引する KAAT 神奈川芸術劇場とタッグを組む、劇場間共同製作の第一弾企画。近代戯曲を現代によみがえらせるシリーズに取り組んでいる白井晃がかねてから上演を熱望していたドイツの名作戯曲「春のめざめ」を、今回は現代版ストレートプレイで蘇らせませす。いずれも今年一層の飛躍が目される若手俳優たちが挑む、この春注目の話題作にご期待ください！



原作：フランク・ヴェデキント 翻訳：酒寄進一

音楽：降谷建志

構成・演出：白井 晃

出演：志尊 淳 大野いと 栗原 類 ほか

## 〈あらすじ〉

ドイツの中等教育機関で学ぶ優等生のメルヒオール、友人で劣等生のモーリッツ、同級生のヴェントラ。ある日の帰り道、メルヒオールはモーリッツに「子供の作り方」を図解で説明すると約束する。成績のさえないモーリッツは、学校での過度な競争にたえられず米国への出奔を企てるものの果たせず、将来を悲観して自殺する。一方、メルヒオールは半ば強姦のようにヴェントラと関係し、ヴェントラを妊娠させてしまう。自殺したモーリッツの遺品からはメルヒオールのメモが見つかり、ヴェントラとの事も発覚。自殺の原因とされたメルヒオールは親に感化院に入れられてしまい・・・。

## 〈チケット情報〉

料金：S席 5,500円 A席 4,500円（二階席） B席 3,500円（二階席後方）  
ユース（25歳以下）は各席種 1,000円引き（枚数限定・要証明書）【発売中】

- 27日（土）18：00回 終演後 ポスト・パフォーマンストークあり。
  - 託児サービスあり（要予約）詳細はお問い合わせください。
- 出演：白井 晃 志尊 淳 大野いと 栗原 類（予定）

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
企画製作：KAAT 神奈川芸術劇場 共同製作：ロームシアター京都



撮影：二石友希

## プロフィール

## 白井 晃 Akira Shirai

演出家、俳優。京都府出身。早稲田大学卒業後、1983-2002年、遊○機械/全自動シアター主宰。劇団活動中よりその演出力が認められ、多くの演出作品を手がける。演出家として独立後は、ストレートプレイからミュージカル、オペラまで幅広く発表し、緻密な舞台演出で高く評価される。中でもポール・オースター作「ムーン・パレス」「偶然の音楽」「幽霊たち」やフィリップ・リドリール作「ピッチフォーク・ディズニー」「宇宙でいちばん速い時計」「ガラスの葉」「メルセデス・アイス」など海外の小説・戯曲を独自の美学で演出し、好評を博す。近年の主な演出作に、「マハゴニー市の興亡」、「レディエント・パーミン」、「夢の劇 - ドリーム・プレイ」、「No.9 - 不滅の旋律 -」など。

2001、2002年の演出活動にて第9回、第10回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。また2012年演出のまつもと市民オペラ「魔笛」にて第10回佐川吉男音楽賞受賞。2016年4月、KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督に就任。

## 未来へ＜創造＞

アルディッティ弦楽四重奏団（音楽）  
× 白井剛（ダンス）

音楽

舞踊

主催

日程：6月23日（金）19:00 開演  
会場：サウスホール

音楽の可能性を広げ続ける、世界最高峰の現代音楽の匠たち。  
コンテンポラリーダンスとの出会いによって生み出された、伝説の舞台空間が再び！

1974年にアーヴィン・アルディッティが創設し、活動を開始したアルディッティ弦楽四重奏団。現代作品そして20世紀初期の作品の深い解釈と卓抜した演奏は、世界各地に広く知られ、高い評価を確立しています。今回は、ダンサー・振付家の白井剛との共演も行います。

出演：アルディッティ弦楽四重奏団（演奏）、白井剛（ダンス）

## 【第1部】アルディッティ弦楽四重奏団

クルターク：ミハイ・アンドラーシュへのオマージュ  
～弦楽四重奏のための12のマイクロリード

細川俊夫：沈黙の花

リゲティ：弦楽四重奏曲第2番

## 【第2部】ダンスとの共演

クセナキス：ST4(1962), lkhoor for trio(1978), Tetras(1983)



© 池田たすく／金沢21世紀美術館

● 託児サービスあり（要予約）詳細はお問い合わせください。

## ＜チケット情報＞

料金：一般4,000円 ユース（25歳以下）3,000円 [発売中]

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
協力：城崎国際アートセンター（豊岡市）

## プロフィール



© 青柳聡／世田谷文化財団

## アルディッティ弦楽四重奏団 Arditti Quartet

アーヴィン・アルディッティ（第1ヴァイオリン）

アショット・サルキシャン（第2ヴァイオリン）

ラルフ・エーラーズ（ヴィオラ） ルーカス・フェルス（チェロ）

1974年に創設。現代作品そして20世紀初期の作品の深い解釈と卓抜した演奏は、世界各地で高い評価を確立している。パートウィスル、ケージ、カーター、ファーニホウ、グバイドゥーリナ、ハーヴェイ、細川、クルターク、ラッヘンマン、リゲティ、リーム、シェルシ、シュトックハウゼン、クセナキスなどの作品を世界初演。日本人作曲家の作品も数多く録音・演奏。作曲家とともに作品の解釈を深めていく彼らの演奏を経て、それらの多くが今世紀の代表的なレパートリーとなっている。CDは200タイトルを超える。ナイーヴレーベルからは、話題沸騰したシュトックハウゼンの「ヘリコプター・クアルテット」など多数リリース。1999年には、エルンスト・フォン・シーメンス賞受賞。スイスのパウル・ザッヒャー財団には演奏記録が全て収められている。1988年に武満徹に招かれ初来日。以来、継続的に来日。ジョン・ケージの「アパートメントハウス1776」を基に、コンテンポラリーダンスの白井剛と共演、「44のハーモニー～アパートメントハウス1776より」を日本各地で公演、好評を得た。



## 白井剛 Tsuyoshi Shirai

1998年 study of live works 発条トの設立に参加。2006年よりカンパニー AbsT として活動を開始。身体が、物質・音・光・空間・時間と交感し合う、繊細かつダイナミックなダンスとその存在性が評される。音楽家、美術家とのコラボレーションも積極的に行い、2008年アルディッティ弦楽四重奏とジョン・ケージ作品での共演は大きな話題となる。近作としては、ピアノと映像とのコラボレーション作品「ON-MYAKU2016 -see/do/be tone-」を2016年に東京と名古屋で発表。文化庁メディア芸術祭審査委員推薦作品にノミネートされるなど、映像と身体の可能性を模索した作品も創作している。

## 未来へ＜創造＞

スガダイローと  
JASON MORAN と東京と京都

音楽

共催

日程：4月15日（土）18:00 開演

会場：ノースホール

Blue Note、ECM などアメリカ、ヨーロッパを代表するレベルで活躍する現代ジャズ界の最重要ピアニスト、ジェイソン・モランの来日が決定。日本のジャズ界に旋風を巻き起こしてきたジャズピアニスト、スガダイローと共演します。

出演：スガダイロー（ピアノ）、ジェイソン・モラン（ピアノ）

ゲスト：鈴木ヒラク（ライブドローイング）

## ＜チケット情報＞

料金：自由席前売 5,800 円、自由席当日 6,500 円、立見席前売 4,500 円  
立見席当日 5,300 円、学割前売（立見席のみ）3,500 円 [発売中]

主催：株式会社 VELVETSUN PRODUCTS

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

後援：京都市



## 鼓童「打男 DADAN 2017」

音楽

共催

日程：11月8日（水）14:00 開演

会場：メインホール

選りすぐれた男性奏者が、ただひたすら叩く、叩く、叩く。生命の限りを尽くして太鼓を打ち鳴らし、疾走する120分。2009年の国内初演以来、進化を続ける舞台の最新版です。2014年の夏にはヨーロッパツアーを遂げ、2015年には香港公演でアジアデビュー、2016年はブラジルツアーで南米デビュー。そして2017年にはアメリカツアーを経て、いよいよ日本国内に再上陸します！

出演：太鼓芸能集団 鼓童

演出：坂東玉三郎

## ＜チケット情報＞

料金：全席指定 S 席 6,000 円ほか [2017年6月下旬発売予定]

主催：北前船 共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 後援：京都市



## 未来へ＜創造＞

レパートリーの創造

木ノ下歌舞伎  
「心中天の網島—2017 リクリエーション版—」

演劇

主催

日程：10月5日（木）～9日（月・祝）

会場：ノースホール

いま全国的な注目を集める木ノ下歌舞伎と  
ロームシアター京都のタッグ企画第1弾！

演劇・ダンスの劇場レパートリー作品の創造を目指す2年がかりのプロジェクトを、木ノ下歌舞伎とのタッグで実施。歌舞伎の演目を現代的な切り口で上演する同劇団が、原作にある緻密なトリックを読み解き、センセーショナルな心中事件の影に隠れた人々の営みに光をあて、新たな音楽劇として上演します。

作：近松門左衛門

監修・補綴：木ノ下裕一

演出・作詞・音楽：糸井幸之介（FUKAIPRODUCE 羽衣）

音楽監修：manzo

出演：日高啓介 伊東茄那 伊東沙保 武谷公雄 西田夏奈子 澤田慎司 山内健司



「心中天の網島」2015 © 東直子

## &lt;チケット情報&gt;

未定 [6月上旬発売予定]

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
企画製作：ロームシアター京都、木ノ下歌舞伎

## プロフィール

## 木ノ下歌舞伎

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、主宰である木ノ下裕一が指針を示しながら、さまざまな演出家による作品を上演するというスタイルで、京都を中心に2006年より活動を展開している。



## 木ノ下裕一 Yuichi Kinoshita

1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受け、古典芸能への関心を広げていく。京都造形芸術大学（映像・舞台芸術学科）で現代の舞台芸術を学び、2006年に古典演目の現代的上演を行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。作品の補綴・監修という立場をとりつつ、様々な演出家とタッグを組みながら創作するスタイルをとっている。近作に、「義経千本桜」（2012年 総合演出：多田淳之介、演出：白神ももこ・杉原邦生）、「三人吉三」（2014年、2015年 演出：杉原邦生）などがある。2015年に再演した「三人吉三」にて読売演劇大賞 2015年上半期作品賞にノミネートされる。その他古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

急な坂スタジオサポートアーティスト（2013年度～）

公益財団法人セゾン文化財団ジュニア・フェロー（2014年度～）

アトリエ劇研アソシエイトアーティスト（2015年度～）



## 糸井幸之介 Yukinosuke Itoi

劇作家・演出家・音楽家

1977年東京生まれ。2004年に女優の深井順子により旗揚げされたFUKAIPRODUCE 羽衣の全作品で作・演出・音楽・美術を手掛ける。全編の7割ほどを演者が歌って踊る、芝居と音楽を融合した独自の作風を“妙—ジカル”と称し、唯一無二の詩的作品世界と、耳に残るオリジナル楽曲で高い評価を得ている。世田谷区芸術アワード“飛翔”2008年度舞台芸術部門受賞。第14回公演「耳のトンネル」にて、CoRich 舞台芸術まつり！2012春グランプリ受賞。2014年より多摩美術大学にて非常勤講師を務める。

未来へ＜創造＞

## 京響クロスオーバー

音楽

主催

日程：12月23日（土・祝）15:00開演（予定）  
会場：メインホール

創立60周年を経て、ますます腕に磨きがかかる京都市交響楽団。シンフォニーオーケストラだけでなく、「エンターテインメントオーケストラ」としての魅力も発揮します。今回はミュージカル俳優と共演し、ミュージカルナンバーを響かせます。



田代万里生 京都市交響楽団

管弦楽：京都市交響楽団 指揮：竹本泰蔵 ゲスト：田代万里生 ほか

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
協賛：ローム株式会社

## Co. 山田うん 「モナカ」

舞踊

共催

日程：2018年1月26日（金）19:00開演  
会場：サウスホール

世界が注目するダンスカンパニーの代表作が、ロームシアター京都に初登場！2015年の初演から中東、ヨーロッパツアーを経て磨きぬかれた大編成の群舞は必見。コンセプトは“最中”。ヲノサトル作曲による全編オリジナル舞踊音楽にもご期待ください。



©Naoshi Hatori

出演：Co. 山田うん ほか

＜チケット情報＞

料金：前売一般 3,500円 前売学生 2,500円  
2017年11月19日（日）発売

主催：一般社団法人 Co. 山田うん  
共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）  
後援：京都市

## 栗山民也 演出 「アンチゴーヌ」

演劇

主催

日程：2018年2月9日（金）～12日（月・休）  
会場：サウスホール

ギリシャ神話を題材にした、フランスの劇作家ジャン・アヌイの代表的悲劇作品が、栗山民也の演出によってこの現代に蘇ります。父との別れ、兄との別れ。全ては王座争いが招いた醜い争い。そんな世の中に立ち上がり、懸命に自分を貫き通したアンチゴーヌ。彼女に待ち受けていた運命とは？

作：ジャン・アヌイ  
演出：栗山民也 訳：岩切正一郎

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

## 未来へ＜創造＞

チェルフィッチュ  
「三月の5日間」リクリエーション

演劇

主催

日程：2018年1月30日（火）～2月4日（日）  
会場：ノースホール国際的な活躍めざましいチェルフィッチュの初期代表作を  
20代前半の“いま”の若者と再創造する

新作を発表するごとに、世界中から大きな期待が寄せられる演劇カンパニー、チェルフィッチュ。活動20周年を記念して、2005年に第49回岸田國土戯曲賞を受賞した初期代表作を、オーディションにより選ばれた20代前半の俳優とともに新たに再創造します。

作・演出：岡田利規

出演：公募オーディションによって選ばれた20代前半の俳優

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
企画制作：株式会社 precog  
製作：一般社団法人チェルフィッチュ



チェルフィッチュ『部屋に流れる時間の旅』  
©Misako Shimizu

## プロフィール

## チェルフィッチュ

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして1997年に設立。

独特な言葉と身体の関係性を用いた手法が評価され、現代を代表する演劇カンパニーとして国内外で高い注目を集める。その日常的所作を誇張しているような／していないようなのだらだらとしてノイジーな身体性は時にダンス的とも評価される。2007年ヨーロッパ・パフォーミングアーツ界の最重要フェスティバルと称されるクステン・フェスティバル・デザール2007（ブリュッセル／ベルギー）にて「三月の5日間」が初めての国外進出を果たして以降、アジア、欧州、北米にわたる計70都市で上演。2011年には「ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶」が、モントリオール（カナダ）の演劇批評家協会の批評家賞を受賞。つねに言葉と身体の関係性を軸に方法論を更新し続け、2012年『現在地』以降はフィクションへの探求のもと創作に取り組んでいる。2013年5月クステン・フェスティバル・デザールの委嘱作品として「地面と床」、2014年5月演劇界のトリエンナーレとも呼ばれる Theater der Welt 2014（マンハイム／ドイツ）の委嘱作品として「スーパープレミアムソフトWバナナリッチ」を発表。2016年3月KYOTO EXPERIMENTにて、世界8都市共同製作作品『部屋に流れる時間の旅』をチェルフィッチュ最新作として発表。



## 岡田利規 Toshiki Okada

1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家／小説家／チェルフィッチュ主宰。

活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年「三月の5日間」で第49回岸田國土戯曲賞を受賞。2007年デビュー小説集「わたしたちに許された特別な時間の終わり」を新潮社より発表し、翌年第2回大江健三郎賞受賞。2012年より、岸田國土戯曲賞の審査員を務める。2013年には初の演劇論集「遊行 変形していくための演劇論」、2014年には戯曲集「現在地」を河出書房新社より刊行。2015年東京都現代美術館での企画展の一部展示会場のキュレーションや、2016年さいたまトリエンナーレでの新作展示など、美術展覧会へも活動の幅を広げている。2015年初の子供向け作品KAATキッズプログラム「わかったさんのクッキー」の台本・演出を担当。同年、アジア最大規模の文化複合施設 Asian Culture Center（光州／韓国）のオープニングプログラムとして初の日韓共同制作作品「God Bless Baseball」を発表。2016年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピーレのレパートリー作品の演出を3シーズンにわたって務める。

## 未来へ＜創造＞

ロームシアター京都セレクション

烏丸ストロークロック  
新作「タイトル未定」

演劇

共催

日程：2018年2月9日（金）～11日（日）

会場：ノースホール

誰もが直面しうる「死に方」というテーマに向き合う、  
京都発の最注目劇団による最新作！

2016年、第60回岸田國士戯曲賞ノミネート、平成28年度京都市芸術新人賞を受賞し、いま京都で最も注目を浴びる劇作家・演出家の柳沼昭徳率いる烏丸ストロークロック。2016年に約1年をかけて京都を中心に上演。ある架空のホスピスで働く一人の女を通して現代社会の生死感に問いかけた「風の砦」シリーズをもとに新作を発表します。弾かれた音色が舞台空間と混じり合う弦楽器の生演奏にもご注目ください。

作・演出：柳沼昭徳

主催：烏丸ストロークロック

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市



「風の砦」総収録 2017 © 東直子

## プロフィール

## 烏丸ストロークロック

1999年、当時、近畿大学演劇・芸能専攻に在学中だった柳沼昭徳（劇作・演出）を中心とするメンバーによって設立。以降、京都を中心に公演活動を行う。社会の抱える不全と、それが及ぼす人々への影響を描く。現象を俯瞰観察する視点を持つ演出と、膨大なモノログと日常会話を交差させ、観客の想像力と、ノスタルジーを喚起する劇作手法が特徴。「演劇（舞台）でしか表現できない作品」「世代・趣味趣向を超えて心に訴えかける作品」をポリシーに、多作を消費的に発表せず、一つの題材に対し、中長期的に様々な角度からのアプローチを試みながら小作品を積み重ね、長編作品に昇華させる活動スタイルをとる。

昨今では、劇団として各地で演劇ワークショップを多く手がける。特に、これまで京都、三重、愛媛で行った市民参加による作品づくりワークショップにおいては、劇作からスタッフワークまでを参加者が担うことで高い集団性を醸成し、その強度を作品そのものの質に反映させることに成功する。

第60回岸田國士戯曲賞ノミネート。OMS 戯曲賞ノミネート多数。2011年、『秘密の朝、焼べる二人』ミソゲキアワード2011受賞。2003年『福音書』第24回 Kyoto 演劇フェスティバル [コンクール部門] Kyoto 演劇大賞受賞。



## 柳沼昭徳 Akinori Yaginuma

1976年京都生まれ。劇作家・演出家。1999年に「烏丸ストロークロック」を旗揚げ、代表。社会の抱える不全とそれが及ぼす人々への影響を描く。一つの題材を約5年といった歳月をかけ、綿密な取材とフィールドワークを経て短編を連作しながら、質、内容共に昇華させていく創作スタイルが評価され、京都のみならず関西・東海地域と活動の幅を広げる。近年は各地で演劇ワークショップや市民参加型の創作も多く手がけている。2015年、京都芸術センター主催の演劇計画Ⅱにて『新・内山』を発表。同作品は第60回岸田國士戯曲賞の最終候補にノミネートされ、大きな注目を集めた。2016年度京都市芸術新人賞受賞。

## 出会う＜フェスティバル＞

京都岡崎音楽祭 2017  
OKAZAKI LOOPS

音楽 演劇 主催

日程：6月10日（土）・11日（日）  
会場：ロームシアター京都、岡崎地域

## 今年も開催！京都が誇る文化エリア 岡崎発、ジャンルレスな音楽祭

ロームシアター京都を中心とした岡崎の文化ゾーンを舞台に、岡崎地域を回遊（ループ）しながら、音楽を軸に文学・メディアアート・演劇など多様なジャンルの表現を楽しむことができる、京都発の音楽祭。同時に、岡崎公園での野外イベント、平安神宮の夜の拝観なども開催します。公式サイト：http://www.okazaki-loops.com

主催：OKAZAKI LOOPS 実行委員会 / MBS  
特別協賛：ローム株式会社

-SYMPHONIC EVOLUTION SPECIAL -

高木正勝オーケストラコンサート  
with 広上淳一 × 京都市交響楽団

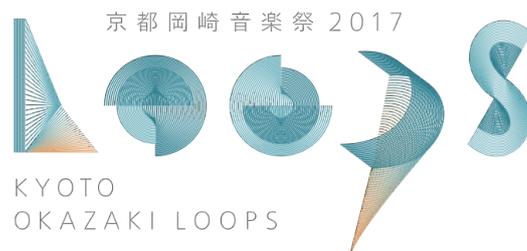
日程：6月10日（土）14:30 開演  
会場：ロームシアター京都 メインホール

第1回の OKAZAKI LOOPS「大山咲み」公演でその存在感を發揮した京都出身の音楽家 高木正勝と京都市交響楽団との満を持してのコラボレーション。高木正勝が音楽を手掛けた細田守監督作品の映画「おおかみこどもの雨と雪」「バケモノの子」の楽曲を高木正勝のピアノとオーケストラ演奏で披露します。

出演：高木正勝（ピアノ）、広上淳一（指揮）、京都市交響楽団（管弦楽）  
ゲスト：アン・サリー（ヴォーカル）

## ＜チケット情報＞

料金：全席指定 一般 6,500 円（当日 7,000 円）  
ユース（25 歳以下）4,000 円（当日座席指定 当日要身分証明書）  
※同日サウスホール公演とのセット券あり【発売中】



高木正勝 © 三田村亮



広上淳一



京都市交響楽団 © 伊藤菜々子



アン・サリー

## プロフィール



写真 三田村亮

## 高木正勝 Masakatsu Takagi

映像作家／音楽家

1979 年生まれ、京都出身、兵庫県在住。山深い谷間にて生活。長く親しんでいるピアノを用いた音楽、世界を旅しながら撮影した“動く絵画”と評される映像、両方を手掛ける作家。国内外での CD や DVD リリース、美術館での展覧会や世界各地でのコンサート、映画や CM 音楽など、分野に限定されない多様な活動を展開している。2009 年 Newsweek 日本版で、「世界が尊敬する日本人 100 人」の 1 人に選ばれるなど、世界的な注目を集めるアーティスト。細田守監督の映画「おおかみこどもの雨と雪」「バケモノの子」、スタジオジブリを描いた「夢と狂気の王国」の音楽を手掛ける。2013 年、アフリカ開発会議 (TICAD V) 関連企画としてエチオピアを訪問・取材し、映像作品『うたがき』を発表した。2015 年秋、7 人のミュージシャンとともに 5 年ぶりのホールワンマンコンサート「山咲み」を東京で開催、後に各地で公演し、2016 年秋には 15 人超に及ぶ大編成の“大山咲み”を京都オカザキループスで披露した。2016 年 3 月に『山咲み (DVD+2CD)』と、2010 年のピアノソロツアーを収めたアルバム『YMENE』を同時リリース。

www.takagimasakatsu.com

## 出会う＜フェスティバル＞

京都岡崎音楽祭 2017  
OKAZAKI LOOPS

音楽 演劇 主催

日程：6月10日（土）・11日（日）

会場：ロームシアター京都、岡崎地域

## 渋さ知らズオーケストラ

日程：6月10日（土）17:30 開演  
会場：ロームシアター京都 サウスホール

ジャズやロック、ラテン、フォーク、歌謡曲など、さまざまなルーツが混在する、日本が世界に誇るパフォーマンス集団“渋さ知らズ”。今回は、ミュージシャンとダンサー約30名のメンバーによる“渋さ知らズオーケストラ”として登場します。舞踏や美術、映像、照明、音響などの表現手段が渾然一体となった同時多発的な「イベント」が連続し、圧倒的なパフォーマンスで観客を熱狂させていく、祝祭的なステージをどうぞお楽しみください！



## ＜チケット情報＞

料金：全席指定 一般 4,000円（当日 4,500円）ユース（25歳以下）3,000円（当日座席指定 当日要身分証明書）※同日メインホール公演とのセット券あり

## プロフィール 渋さ知らズ

1989年9月、不破大輔を中心に第一回目のライブを行う。フリージャズをベースにした大所帯バンドだが、オーケストラ編成だけでなく、中編成や小編成でも活動する。芝居の音楽伴奏が出発点の一つとなったこともあり、演劇的感覚が強い。演奏にはジャズ、ロック、フォーク、歌謡曲など様々な要素が混在し、ジャンル分けを拒む音楽である。

ステージはミュージシャン、舞踏家、ダンサー、パフォーマー、映像などによって構成され、同時多発的な「イベント」が連続し、観客を熱狂させていくことから、祝祭的なバンドと評される。FUJI ROCK FESTIVAL（日）SUMMER SONIC（日）GLASTONBURY FESTIVALS（英）MOERS FESTIVAL（独）ROCCELLA（伊）NANTES（仏）QUEBEC（加）をはじめとする、国内外の大型フェスティバルで高い評価を受け、数度の長期ヨーロッパツアーを行っている。また、「天幕渋（テント渋さ）」と呼び、自ら巨大テントを建てての公演も行っている。これは渋さ知らズがバンドであると同時に、「場」であることを示しており、芸能のラディカリズムを意識したものである。

www.shibusa.net

agehasprings produce  
《node\_vol.1》featuring Aimer × LOOPS strings日程：6月11日（日）14:30 開演  
会場：ロームシアター京都 メインホール

東洋と西洋の文化が複合的に交差し、音楽的にもつねに新しいムーブメントを発信しつづける街、京都をコンセプトに、気鋭のクリエイター集団“agehasprings”が京都・岡崎を舞台に文化、音楽の交点《node》をテーマに手がけるライブシリーズの第一弾。2016年のミュージックシーンのセンターに踊り出た、現代のJ-POP クオリティを代表する女性アーティスト Aimer（エメ）が昨年の LOOPS に続いて登場。自身の音楽とワールドミュージックとの交点《node》を求めるステージを繰り広げます。

出演：Aimer、OKAZAKI LOOPS ストリングス

## ＜チケット情報＞

料金：全席指定 一般 6,500円（当日 7,000円）  
ユース（25歳以下）4,000円（当日座席指定 当日要身分証明書）【発売中】



## プロフィール Aimer

女性シンガーソングライター。15歳の頃、歌唱による喉の酷使が原因で、突如声が出なくなるアクシデントに見舞われる。止む無く音楽活動を休止するも、数年後には独特のハスキーで甘い歌声を得ることとなる。2011年にシングル「六等星の夜」でメジャーデビュー。ONE OK ROCKのTaka、RADWIMPSの野田洋次郎、澤野弘之など、豪華アーティスト陣が参加したニューアルバム「daydream」を2016年9月21日にリリースし、ロングセラーを記録中。

\*その他、無料で参加いただける、展示「音をとらえる展II」（ロームシアター京都 プロムナード）、回遊朗読劇「LOOPS READING THEATRE」（平安神宮・岡崎地域）、野外特設ステージでの地元アーティストによるフリーライブ（岡崎公園）なども開催します。詳しくは別添のOKAZAKI LOOPS 実行委員会プレスリリース（2017年3月24日配信）をご覧ください。

出会う＜フェスティバル＞

KYOTO EXPERIMENT  
京都国際舞台芸術祭 2017

演劇 舞踊 主催

日程：10月14日（土）～11月5日（日）  
会場：サウスホール、ノースホール、パークプラザ、ローム・スクエア  
京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座 ほか

京都から世界へ 世界から京都へ  
時代に問いかける、舞台芸術の実験

国際水準の先鋭的な表現から世代を超えた表現まで、質量ともに充実した、新しい「京都国際舞台芸術祭」の姿を国内外にアピールすることで、世界の舞台芸術ネットワークの拠点を目指します。本年は「東アジア文化都市京都」のプログラムの一つとして、中国や韓国のアーティストを始めて紹介します。

主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会

KYOTO  
EXPERIMENT 2017

京都国際舞台芸術祭  
Kyoto International Performing Arts Festival

＜ロームシアター京都でのこれまでの KYOTO EXPERIMENT＞



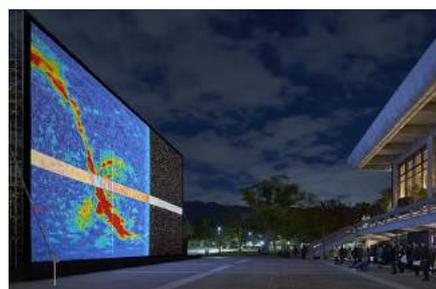
マーク・テ『Baling』 撮影：井上嘉和



こどもとおとなの演劇祭 プレイ！パーク  
Little seeds『Little seeds 移動遊園地 vol.1』 撮影：飯川雄大



researchlight『河童と、ふたたび』



池田亮司『the radar [kyoto]』 撮影：浅野豪



researchlight『河童よ、ふたたび』 撮影：衣笠名津美



松本雄吉 × 林慎一郎『PORTAL』 撮影：井上嘉和



チェルフィッチュ『部屋に流れる時間の旅』  
撮影：清水ミサコ



地点『スポーツ劇』 撮影：松見拓也



ダヴィデ・ヴォンバク『渴望』 撮影：守屋友樹

参加する劇場へ

主催

日程：8月中旬

会場：メインホール ほか

プレイ！シアター in Summer

夏休み期間中に、ロームシアター京都をめいっぱい楽しんでもらえる企画です。劇場ツアー、ワークショップ、ロビーコンサート、マルシェ…など、“気軽に遊べる劇場”として、こどもからおとなまで満喫できるプログラムです。

<ロームシアター京都1周年記念「プレイ！シアター」(2017年1月開催)の様子>



写真すべて © 飯川雄大

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市  
企画製作：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

## 参加する劇場へ

ロームシアター京都・京都市ユースサービス協会連携事業

### 「未来のわたし ―劇場の仕事―」

主催

日程：4月～11月（予定）

会場：ロームシアター京都、京都市青少年活動センター

演劇やダンス、音楽、アート、美術・工芸などの「創造表現活動」をテーマにしている東山青少年活動センター（京都市ユースサービス協会が運営）で活動する青少年を対象に、劇場スタッフがロームシアター京都で開催する自主事業の内容や業務についてのレクチャーを行い、現場での業務を体験します。

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都市

### 舞台音響家のための公開講座

#### 《演劇コース》

共催

日程：11月（予定）

会場：ノースホール

日本舞台音響家協会による演劇を中心とした、音響効果のプランニングを学ぶ講座。俳優によるテキスト朗読を素材とし、完成したプランを劇場で上演します。

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

参加する劇場へ

ロームシアター京都 × 京都市文化会館5館連携事業  
地域の課題を考えるプラットフォーム

主催

「まちの見方を180度変えるローカルメディアづくり  
～ CIRCULATION KYOTO (サーキュレーション キョウト) ～」

日程：2017年4月～2018年3月

会場：ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター

京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館、ほか

山科区、伏見区、西京区、北区、右京区にそれぞれ位置する5つの京都市文化会館とロームシアター京都を円をつなぎ、新たな“京都ローカル”の姿を探る新プロジェクトが始動。参加クリエイター、京都在住のさまざまな地元パートナー、ワークショップの一般参加者が協働して構想・制作するメディアを通じ、「ローカル」と「メディア」を問い直します。



写真すべて © 成田舞

<参加クリエイター>

影山裕樹 (編集者/千十一編集室)

加藤賢策 (アートディレクター/ラボラトリーズ)

上條桂子 (編集者)

榊原充大 (都市建築等リサーチ/RAD)

[プロジェクト概要]

2017年4月29日(土) 14:00～16:00

キックオフトークイベント (一般公開)

「新たな京都を発見するローカルメディアのかたち」

2017年8月中旬～2018年3月

ローカルメディアづくり

2017年6月17日～8月6日

ワークショップ (全5回/要参加申込、京都市内各所)

①オリエンテーション&レクチャー&インタビュー

「新たな“移動”を促すローカルメディアのかたちとは」

②ブレインストーミング&インタビュー&フィールドワーク

「地域の課題と宝物を見つけるリサーチ」

③レクチャー&ディスカッション

「地域に入り込む取材・交渉・デザイン」

④ディスカッション&公開講座

「地域の課題と魅力を可視化する企画力」

⑤一般公開プレゼンテーション&ディスカッション

「新たな“移動”を促すローカルメディアのかたちとは」

2018年3月中旬 14:00～17:00

メディア完成記念トーク (一般公開)

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 (ロームシアター京都  
京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ  
京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館) / 京都市  
企画製作：ロームシアター京都



プロフィール

影山裕樹 Yuki Kageyama

1982年東京生まれ。早稲田大学第二文学部卒業後、雑誌編集部、出版社勤務を経て独立。アート/カルチャー書のプロデュース、ウェブサイトや広報誌の編集、展覧会やイベントの企画・ディレクションなど幅広く活動している。近年は「フェスティバル/トーキョー」(12、13)「十和田奥入瀬芸術祭」「札幌国際芸術祭2014」など各地の芸術祭やアートプロジェクトに編集者、ディレクターとして関わる。著書に『大人が作る秘密基地』(DU BOOKS)、『ローカルメディアのつくりかた』(学芸出版社)、共編著に『決定版・ゲームの神様 横井軍平のことば』(スペースシャワーネットワーク)など。2017年「千十一(せんといち) 編集室」をスタート。

参加する劇場へ

賑わいと憩いの場

ロームシアター京都が位置する京都岡崎エリアは、東山を望む景観、琵琶湖疏水、美術館、動物園、寺院・寺社など多彩な文化資源を擁しています。

ロームシアター京都は、そうした岡崎エリアの賑わいの中心として、ホールでの催物に加えて、日常的にさまざまなサービスやイベントを展開しています。観劇を目的とした方だけでなく、近隣にお住まいの方や観光客の方など、多くの人々の生活や文化芸術と地域のつながりを大切にしています。

パークプラザには、飲み物を飲みながら読書や勉強などができるブック&カフェ（京都岡崎 蔦屋書店/スターバックスコーヒー）、終演前後の語らいを楽しむことのできるレストラン（京都モダンテラス）があります。また、3階には音楽総合体験施設・ミュージックサロンがごございます。

岡崎公園とつながるローム・スクエアは、マルシェなどの野外イベントや芸術作品の展示などを通じて、子どもから大人まで楽しめる空間となっています。冷泉通と二条通をつなぐプロムナードは誰もが自由に通り抜けることができますので、総合案内・チケットカウンターやキオスク（ファミリーマート）に気軽にお立ち寄りいただけます。



SUNSET SUNDAY@KYOTO MODERN TERRACE



ワークショップ「べったんスタンプオーナメント」



京の手作りマルシェ



コンゴ共和国のおしゃれ紳士集団「SAPEUR」によるトークショー・サイン会・撮影会

2016 年度主な賑わいスペース事業

- ・御朱印帳づくりワークショップ  
～マイ御朱印帳で祇園祭の山鉾の御朱印を集めよう～
  - ・SUNSET SUNDAY@KYOTO MODERN TERRACE
  - ・京の手作りマルシェ
  - ・コンゴ共和国のおしゃれ紳士集団「SAPEUR」によるトークショー・サイン会・撮影会
  - ・Chocomoo ライブイベント&トークショー・サイン会
  - ・トークイベント「だれでも、どこでも、クリエイティブに働く、生きる。」  
— YADOKARI に聞く、ミニマルライフの初めかた —
  - ・岡崎おいない市
  - ・ミュージカル『わたしは真悟』プレイベント「模図かずおの恐怖ぬりえ」ぬりえ体験
  - ・高山なおみ『帰ってきた日々ごはん②』高山なおみ × 鈴木潤 トークイベント
  - ・対談 池澤夏樹 × 木ノ下裕一「古典と向き合う - 文学と演劇 -」
  - ・『朝日焼十五世 松林豊斎 つなぐ心、つなぐ技。朝日焼の四百年』写真展示
  - ・『朝日焼十五世 松林豊斎 つなぐ心、つなぐ技。朝日焼の四百年』トークイベント
  - ・活版オリジナルノートを作る
- ほか

2017 年度賑わいスペース事業 ( 予定 )

- ・2017年3月18日(土)～4月9日(日)  
森村泰昌「Morillo」展示
- ・2017年4月22日(土) 13:00-15:00  
大原千鶴『まいにち おべんとう』トークイベント京都生まれ・京都育ちの京都ごはん
- ・2017年4月29日(土・祝) 14時～16時  
まちの見方を180度変えるローカルメディアづくり  
～CIRCULATION KYOTO (サーキュレーション キョウト)～  
キックオフトークイベント「新たな京都を発見するローカルメディアのかたち」
- ・2017年6月11日(日) 16:00～21:00  
SUNSET SUNDAY @ KYOTO MODERN TERRACE
- ・2017年6月17日(土) 19:00-21:00  
トークイベント「ヨシダナギ 京都に立つ」

※以上2017年3月28日現在

## ロームシアター京都について

これまで 50 年間にわたり「文化の殿堂」として親しまれてきた「京都会館」は、2016 年 1 月 10 日に「ロームシアター京都」としてリニューアルオープンしました。

### 【沿革】

#### ■京都会館の誕生

1960 年 4 月 29 日、全国に先駆けた多目的な公立文化ホールとして、京都・岡崎の地に京都会館は誕生しました。設計を担ったのは、日本を代表する建築家である故前川國男氏です。京都会館は岡崎地域の周辺環境との調和を考慮し、水平線を強く意識した意匠で設計され、日本建築学会賞を受賞するなど、「モダニズム建築の傑作」として高い評価を受けています。

#### ■再整備基本計画

開館から 50 年あまり経ち、施設全般の老朽化やホール機能の近代化など、利用者や来場者のニーズに応えられない状況となってきました。こうした事態に直面し、京都市では 10 年間近くにわたり京都会館の再整備に向けた検討を重ね、2011 年 6 月に「京都会館再整備基本計画」を策定しました。

#### ＜基本方針＞

- ・既存の建物価値を継承し、公共ホールとして建物を再生する。
- ・「文化の殿堂」として多様な利用ニーズに応えるよう機能向上を図る。
- ・岡崎地域の活性化や魅力の保全・創出を牽引する機能導入や環境整備を進める。

#### ■建物価値の継承

再整備を行うに当たっては、現在の岡崎地域の風致・景観の向上に寄与するとともに、日本を代表するモダニズム建築として評価の高い京都会館の建物価値を検証し、実施する基本設計に反映するため、京都会館の建物価値継承に係る検討委員会を設置しました。基本設計は、現在の日本を代表する建築家の一人である香山壽夫氏です。2012 年 6 月に、基本計画に基づき、同委員会からの提言を踏まえた、「京都会館再整備基本設計」を取りまとめました。

#### ■ロームシアター京都としての出発

再整備事業の取組を進めるなか、京都に本社を持つローム株式会社にご協力いただけることとなり、2011 年 9 月に「京都会館の命名権に関する契約」を締結し、この命名権対価を利用して再整備を進めることとなりました。こうして、これまで 50 年間にわたり「文化の殿堂」として親しまれてきた「京都会館」は、2016 年 1 月 10 日に「ロームシアター京都」として生まれ変わりました。

### 【施設概要】

ロームシアター京都は、舞台芸術公演を行う 3 つの多目的ホールに加え、賑わいを創出する施設を備えた公立文化施設です。国内外の大規模公演が可能な約 2000 席のメインホール、舞台と客席の距離が近く一体感が得られる約 700 席のサウスホール、小劇場やリハーサル室としての利用に適した 200 人規模のノースホール、ブック & カフェ（京都岡崎 蔦屋書店）、レストラン（京都モダンテラス）、ミュージックサロン（音楽総合体験施設）を備えるパークプラザ、野外スペースとして活用できるローム・スクエアなど、多彩な文化活動を幅広く支え、すべての人に憩いの場を提供するための多様なニーズに対応。「劇場のある空間」を中心として、人々の暮らしの感覚と芸術とが相互に繋がり、京都に新しい「劇場文化」を形づくります。



2016 年 ロームシアター京都



1960 年頃 京都会館

敷地面積	13,671.50 m <sup>2</sup>	延べ面積	21,049.18 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 他	施工期間	2013 年 9 月～2015 年 8 月
階数	地上 6 階、地下 2 階建て	基本設計者・監修者	(有) 香山壽夫建築研究所 香山壽夫
建築面積	8,067.84 m <sup>2</sup>	施工者	大林・藤井・岡野・きんでん 東洋熱工業特定建設工事共同企業体